

# 欧州景気概況(2023年8月)

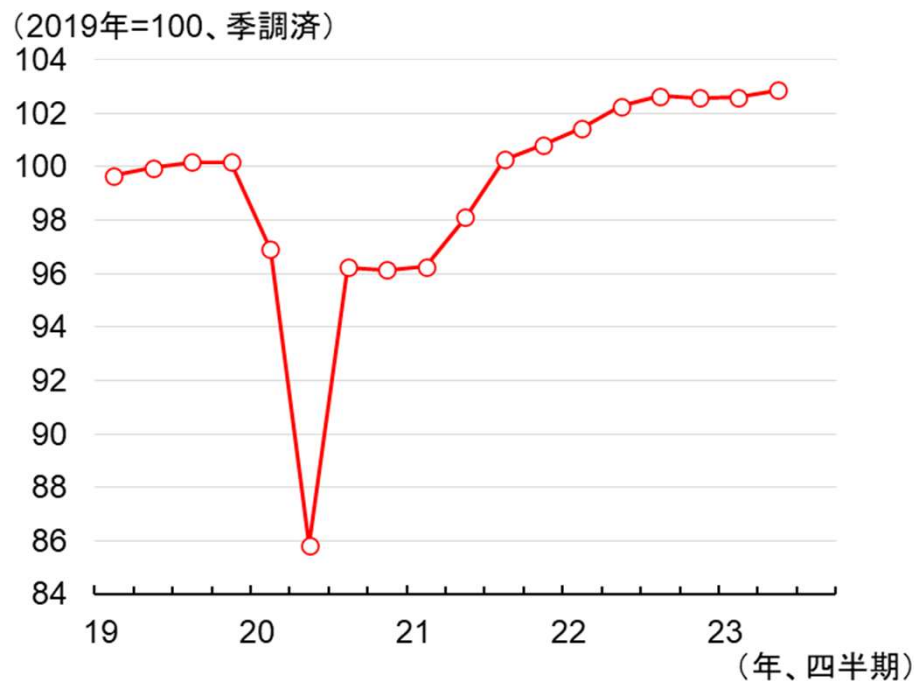
2023年8月2日

調査部 副主任研究員 土田陽介

## ユーロ圏景気概況① 景気は足踏みしている

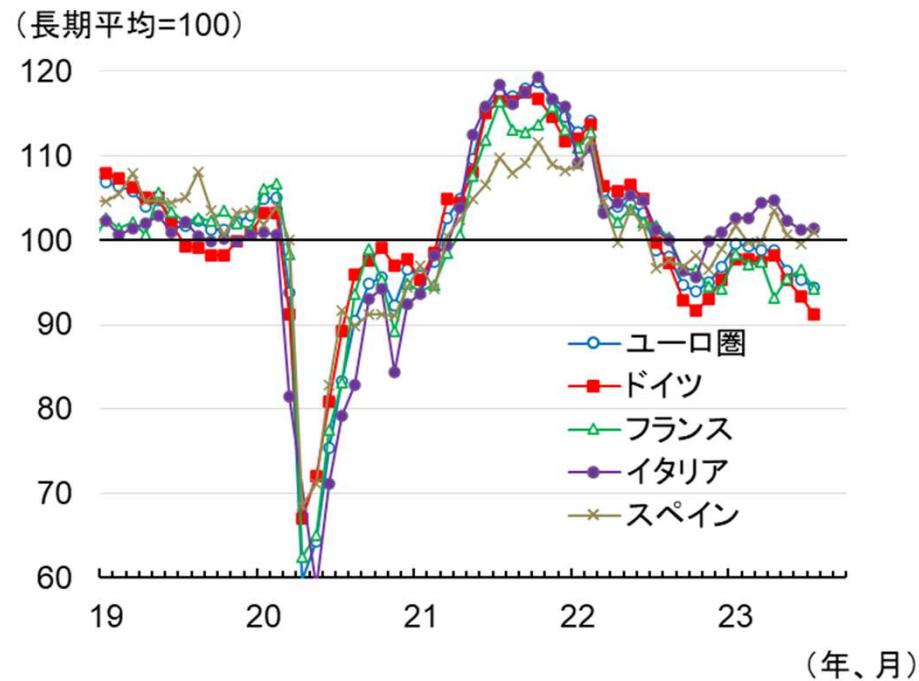
ユーロ圏の4-6月期の実質GDP(速報値)は前期比+0.3%とプラス成長に復した。スペインが同+0.4%と好調を維持し、またフランスが同+0.5%と加速したことなどが、ユーロ圏全体のGDPを押し上げた。一方で、景気の方角を示す景況感指数は、最新7月が94.5と3ヶ月連続で低下した。製造業・サービス業、建設業と幅広い業種で景況感が悪化した。

### 実質GDP



(出所) 欧州連合統計局(ユーロスタット)

### 景況感指数

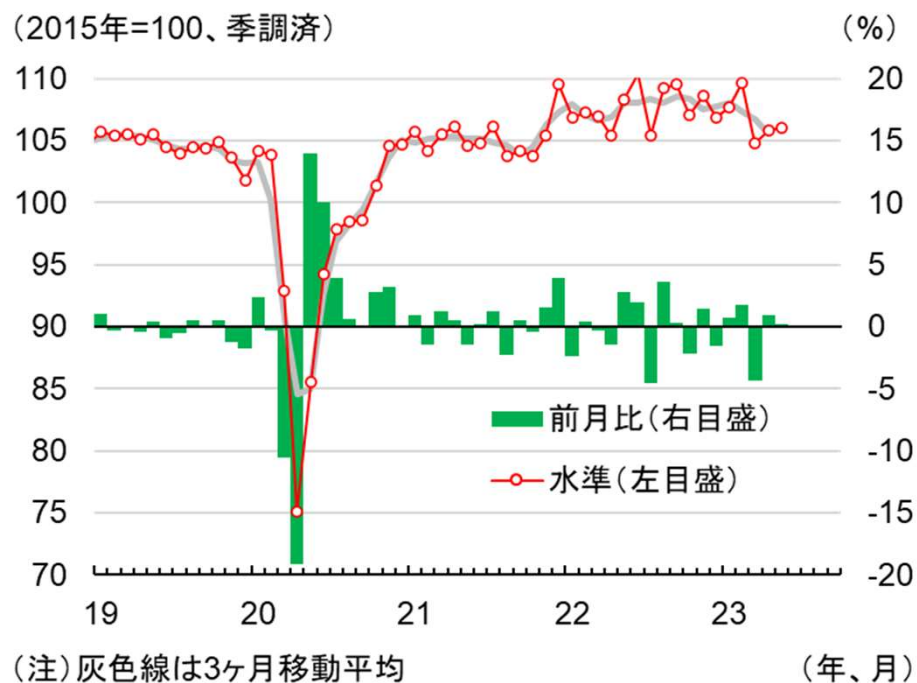


(出所) 欧州委員会ECFIN

## ユーロ圏景気概況② 生産は減少

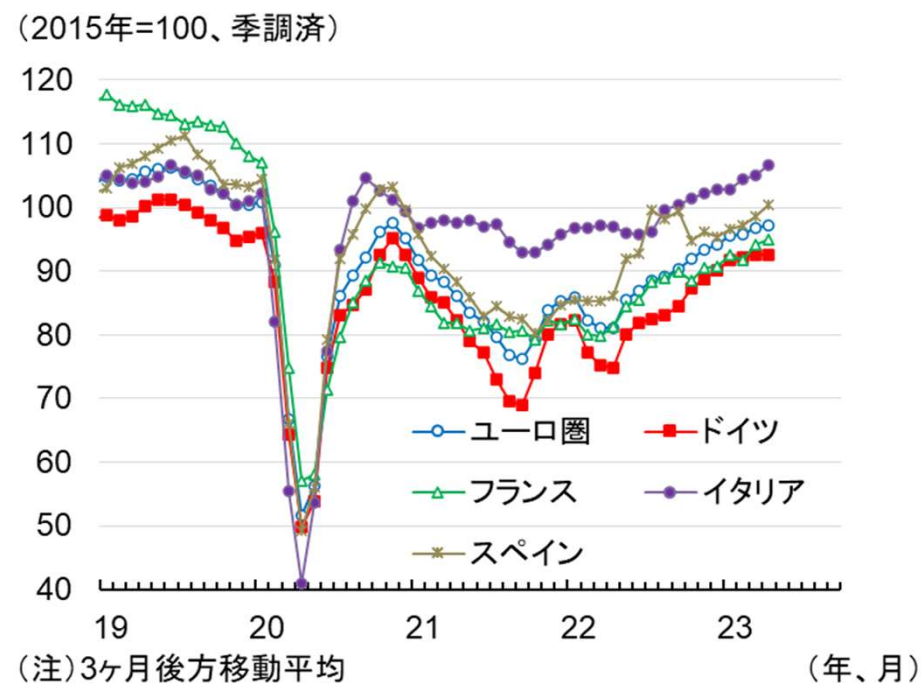
ユーロ圏の5月の鉱工業生産は前月比+0.2%と4月(同+1.0%)から増勢が減速し、均した動きも下向き。ただし、自動車の生産は、ドイツは頭打ちだが、ドイツ以外では各国とも緩やかな増加基調を維持した。

### 鉱工業生産



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所) ユーロスタット

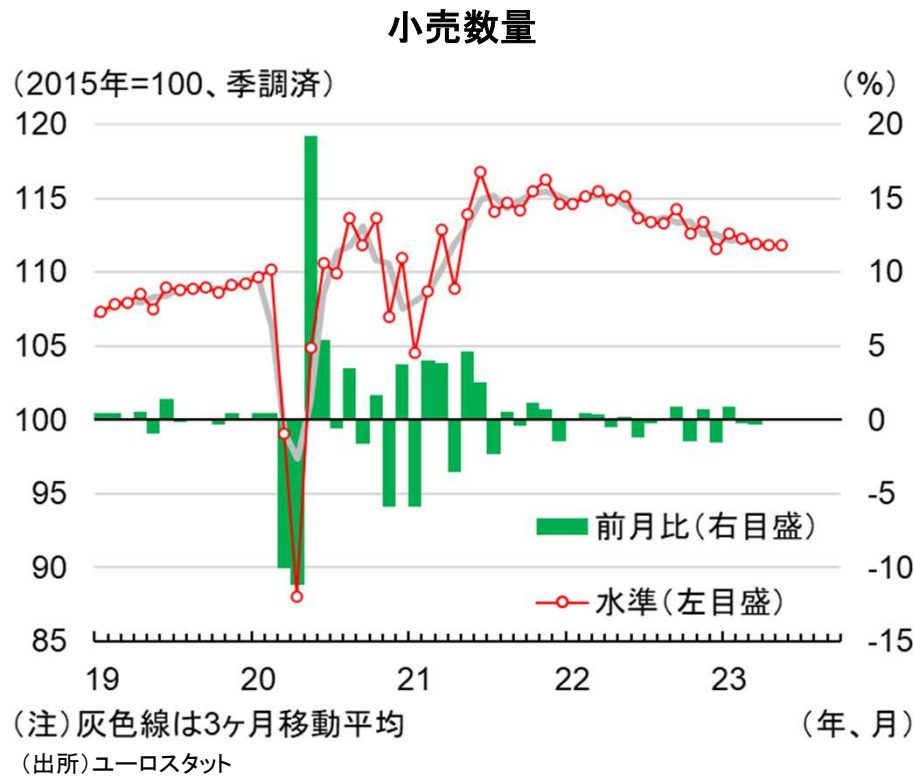
### 自動車生産台数(鉱工業生産ベース)



(注) 3ヶ月後方移動平均  
(出所) ユーロスタット

## ユーロ圏景気概況③ 消費は悪化

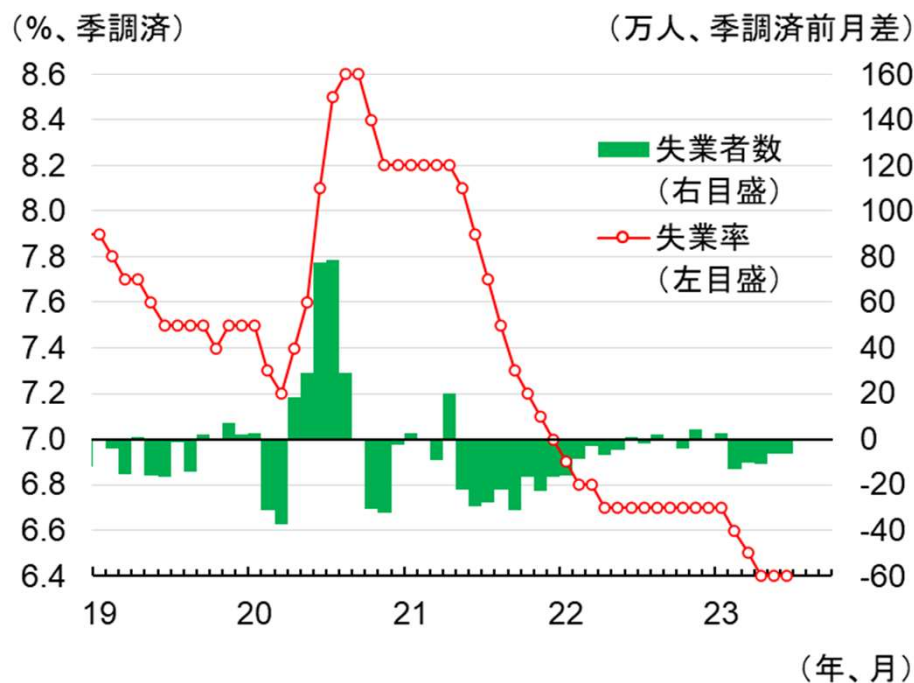
ユーロ圏の5月の小売数量は前月比横ばいとなり、均した動きも依然として下向き。ただし、翌6月の新車販売台数は前月比+1.9%の年率868万台と再び増加し、均した動きは底入れ。



## ユーロ圏景気概況④ 雇用は改善

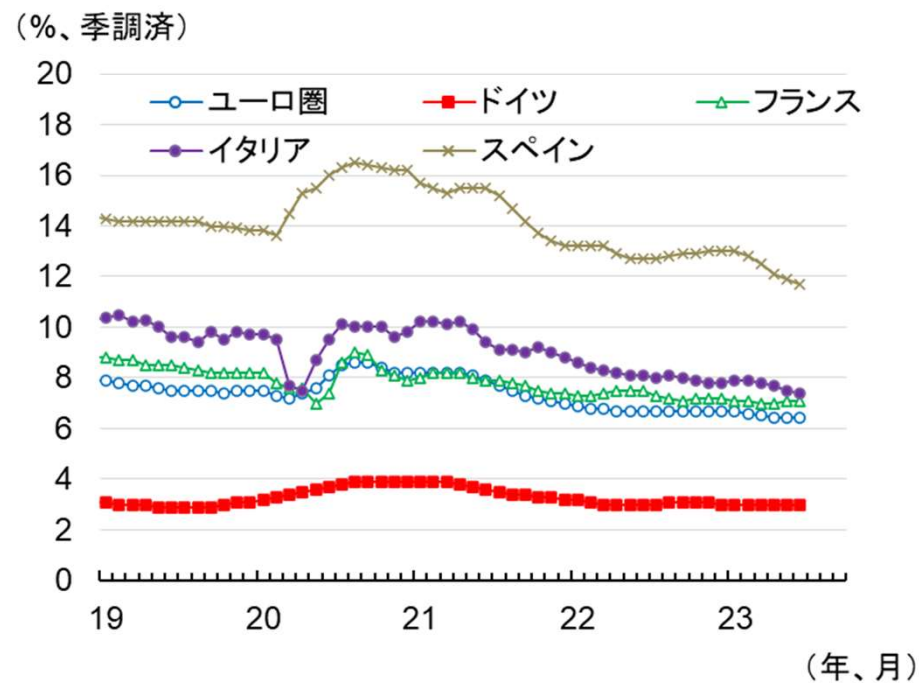
ユーロ圏の6月の失業率は6.4%と3ヶ月連続で横ばいとなった。また失業者数も前月比6.2万人減と、改善ピッチが2ヶ月連続で鈍化したものの、雇用は改善基調を維持。主要国別に失業率を見ると、各国ともわずかな低下か横ばいにとどまっている。

### 雇用統計



(出所)ユーロスタット

### 主要国別失業率

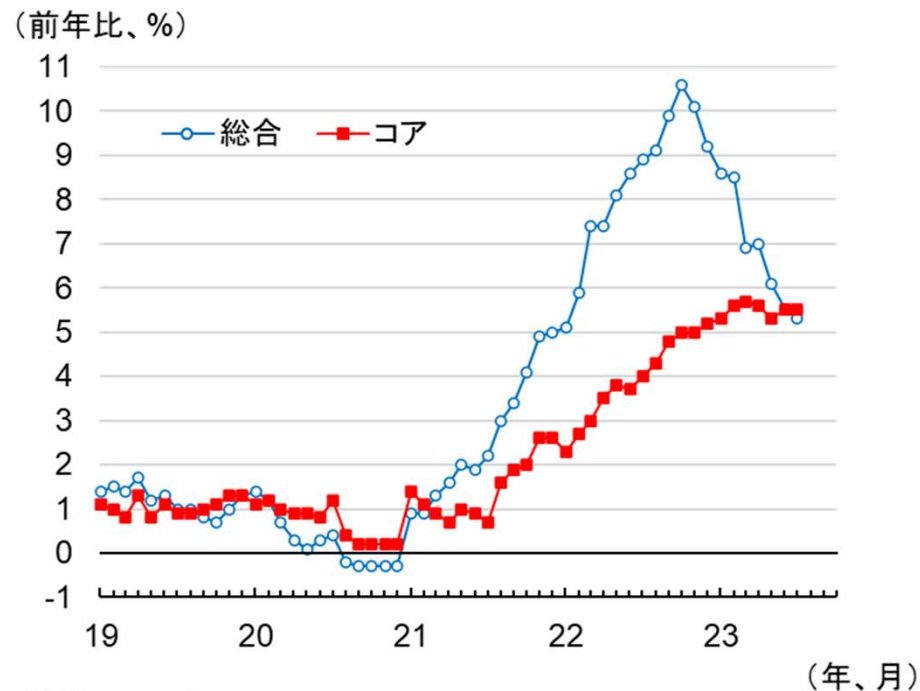


(出所)ユーロスタット

## ユーロ圏景気概況⑤ インフレは鈍化

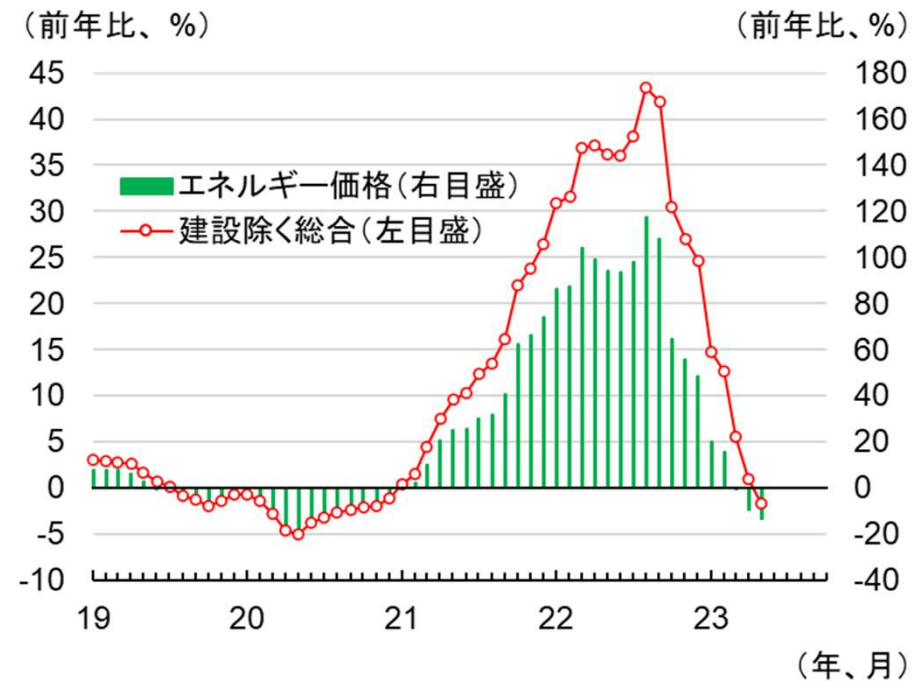
ユーロ圏の7月の消費者物価(速報値)は総合ベースで前年比+5.3%と、3ヶ月連続で伸びが鈍化。反面で、変動が激しい項目を除いたコアベースは同+5.5%と、伸びが高止まりした。一方で、生産者物価(建設除く総合)は5月時点で前年比▲1.6%と、2年半ぶりに前年割れに転じた。うちエネルギー価格は同▲13.3%と、3ヶ月連続で前年割れとなった。

### 消費者物価



(出所)ユーロスタット

### 生産者物価

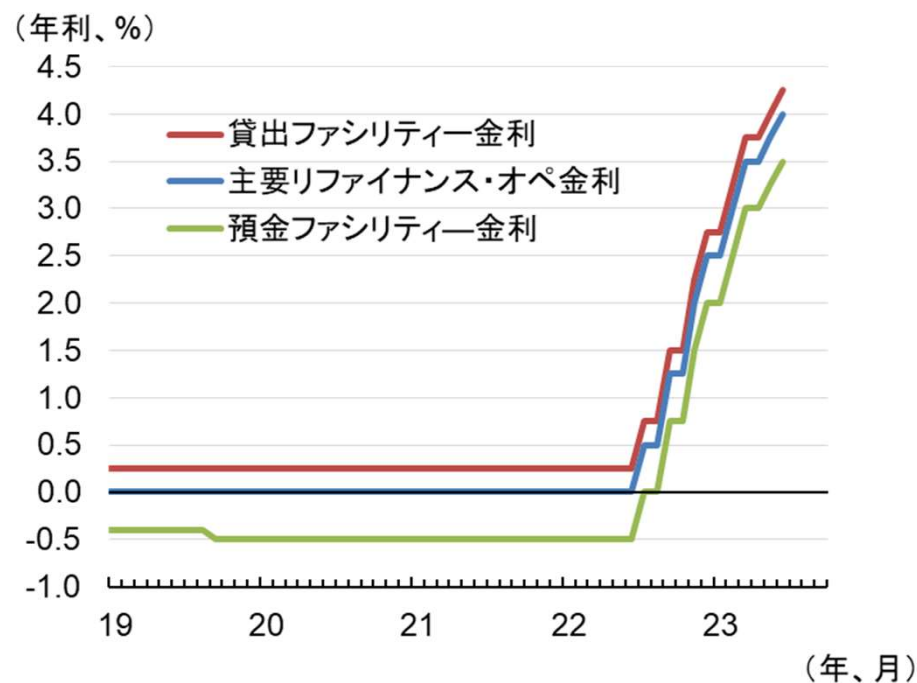


(出所)ユーロスタット

## ユーロ圏景気概況⑥ ECBは7月理事会で追加利上げを実施

欧州中央銀行(ECB)は7月27日に定例の政策理事会を開催、政策金利をそれぞれ0.25%引き上げた。ECBはデータ次第とはしながらも、追加利上げの可能性にも言及した。またECBは7月より、資産購入プログラム(APP)の下で購入してきた金融資産に対する再投資の停止に着手した。次回の理事会は9月14日に予定。

### ECBの政策金利



(出所) 欧州中央銀行(ECB)

### 7月理事会での決定内容の概要

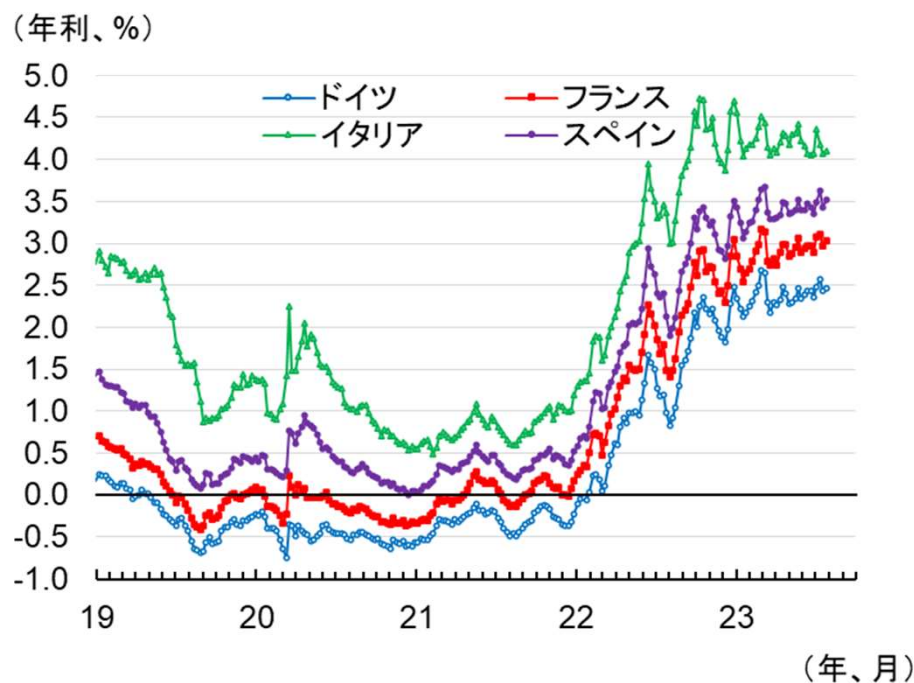
| 主な決定事項       | 内容   |
|--------------|--|
| 政策金利         | <ul style="list-style-type: none"> <li>各政策金利を0.25%ずつ引き上げ</li> <li>貸出ファシリティー金利 4.25%→<b>4.50%</b></li> <li>主要リファイナンス・オペ金利 4.00%→<b>4.25%</b></li> <li>預金ファシリティー金利 3.50%→<b>3.75%</b></li> </ul>   |
| 資産購入の再投資政策   | <ul style="list-style-type: none"> <li>資産購入プログラム(APP)</li> <li>3月から6月まで月150億ユーロのピッチで保有資産を削減</li> <li>6月で再投資を終了</li> <li>パンデミック緊急購入プログラム(PEPP)</li> <li>再投資は2024年末で終了</li> <li>各国中銀の出資比率に応じた資産購入などを適用せず、柔軟な購入を行う</li> </ul>                                   |
| 市場分断防止策(TPI) | <ul style="list-style-type: none"> <li>TPIの適用条件</li> <li>EUが定める財政ルールへの順守</li> <li>健全なマクロ経済運営(過剰な経常赤字の是正など)</li> <li>TPIの具体的な手段</li> <li>流通市場での国債購入、金額は無制限</li> <li>購入対象資産は国債が中心、社債も視野、満期1~10年</li> <li>状況が改善すれば終了</li> <li>経済の基礎的条件に基づく金利上昇には適用せず</li> </ul> |

(出所) ECB

## ユーロ圏景気概況⑦ 金利は横ばい、株価は上昇

7月のユーロ圏主要国の長期金利は横ばい。欧州中銀(ECB)による追加利上げを巡る思惑が交錯し、金利は横ばいで推移した。他方で、7月のユーロ圏の株価は上昇した。ECBによる追加利上げへの懸念が株価の上値を抑えたが、中国による景気刺激策強化に対する期待などが株価を押し上げた。

### 長期金利



(出所) ECB

### 株価 (Eurostoxx50)



(出所) STOXX



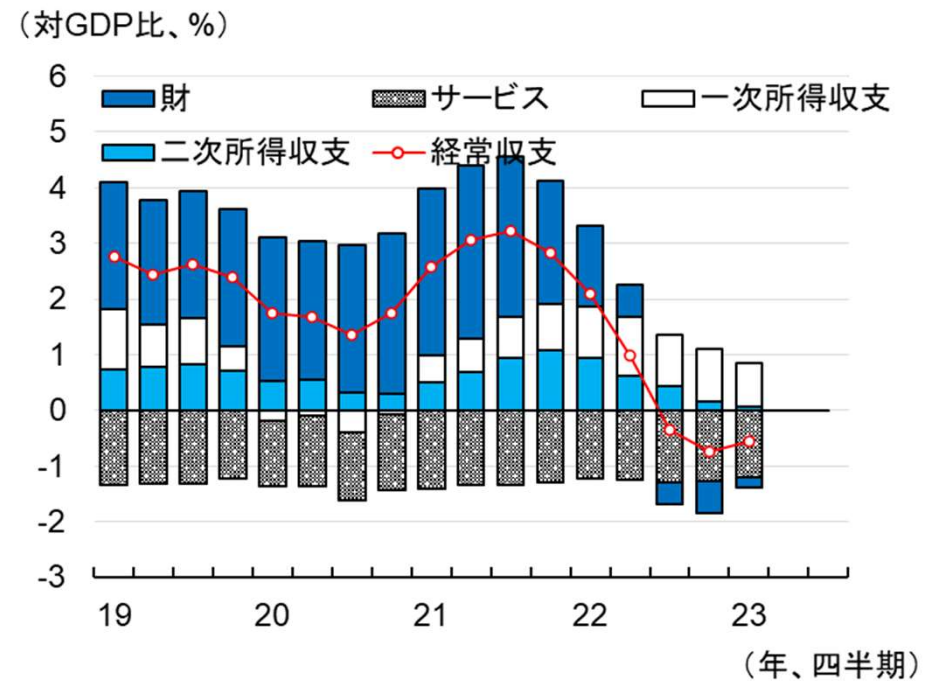
## ユーロ圏景気概況⑧ ユーロは対ドル上昇、対円で下落

7月のユーロ相場は対ドルで上昇、対円で下落した。対ドルでは、米国の利上げ局面が終了するとの思惑から、ユーロが買われた。対円では、日銀によるイールドカーブコントロール(YCC)修正への期待などから、ユーロが売られた。ユーロ圏の経常収支は財収支の赤字幅が縮小に転じたが、実需面からのユーロ買い圧力は依然として弱い。

### ユーロ相場



### 国際収支

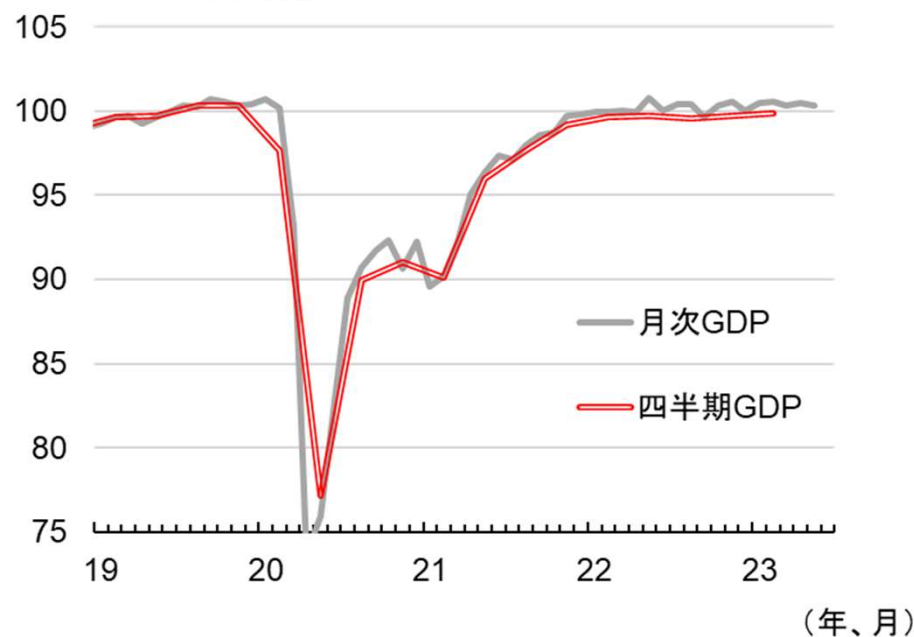


## 英国景気概況① 景気は足踏みしている

英国の1-3月期の実質GDP(確報値)は前期比+0.1%と2四半期連続で同じ伸び率となった。主要な需要項目の動きを確認すると、設備消費が増加して景気を下支えした一方で、個人消費が横ばいとなり、輸出が減少して景気を下押しした。他方で、5月の月次実質GDPは前月比▲0.1%となり、均した動きは足踏み。

### 実質GDP

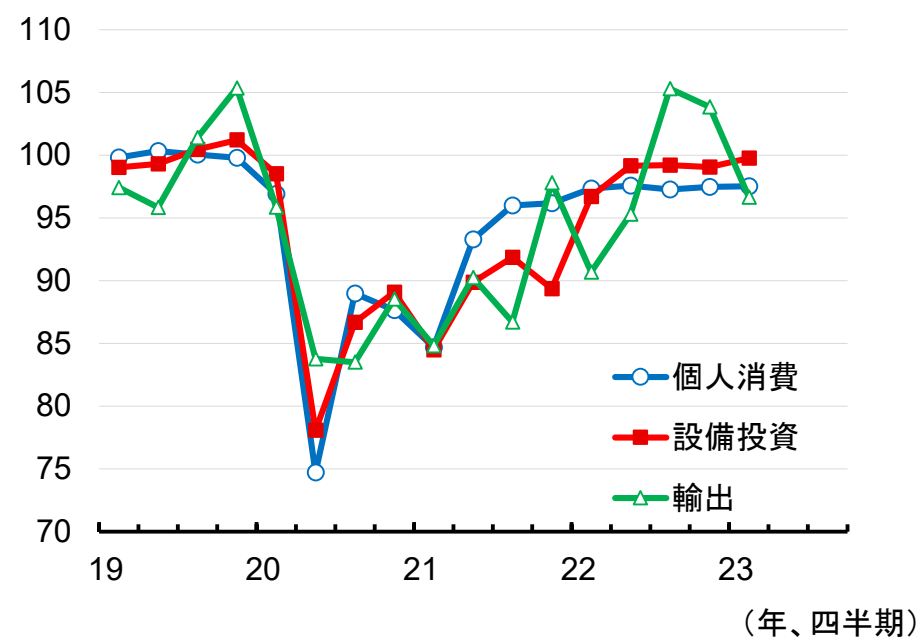
(2019年=100、季調済)



(出所)英国立統計局(ONS)

### 主要な需要項目

(2019年=100、季調済)

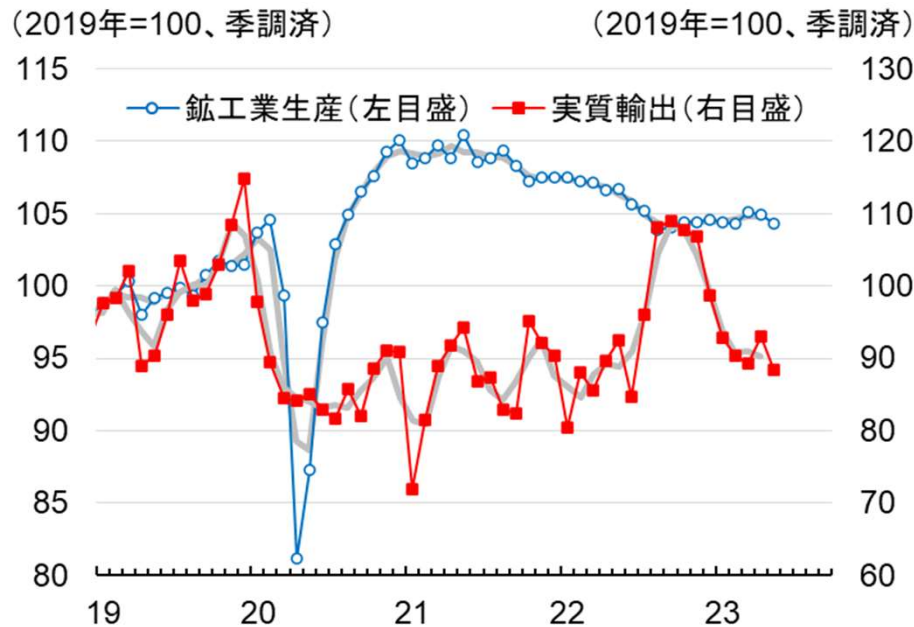


(出所)ONS

## 英国景気概況② 生産は足踏み

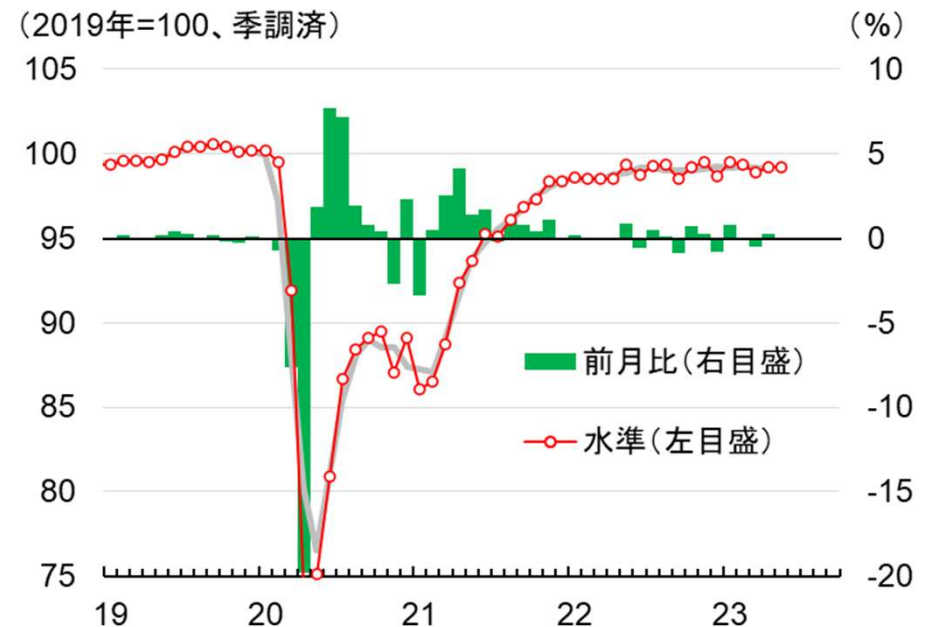
英国の5月の鉱工業生産は前月比▲0.6%と2ヶ月連続で減少し、均した動きは横ばい。一方で、同月の実質輸出は同▲5.0%と4月(同+4.0%)から減少に転じ、均した動きも下向きに。さらに、5月のサービス生産は前月比横ばいにとどまり、均した動きは横ばい。

### 生産と輸出



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所)ONS

### サービス業生産



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所)ONS

## 英国景気概況③ 消費は回復

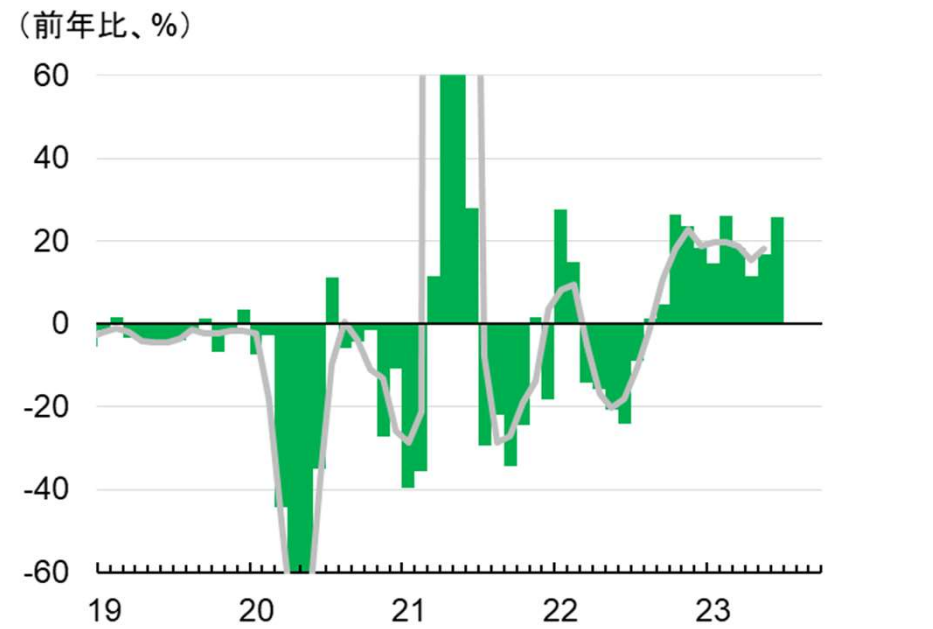
英国の6月の小売数量(除く石油)は前月比+0.7%と5月(同横ばい)から増勢が加速し、均した動きは上向き。一方で、同月の新車販売台数(乗用車)は前年比+25.8%と増勢が加速。均した動きは前年比2割増のピッチが定着し、市場規模は年間180万台レベル。

### 小売数量(除く石油)



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所)ONS

### 新車販売台数(乗用車)



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所)ONS

## 英国景気概況④ 雇用は改善が一服

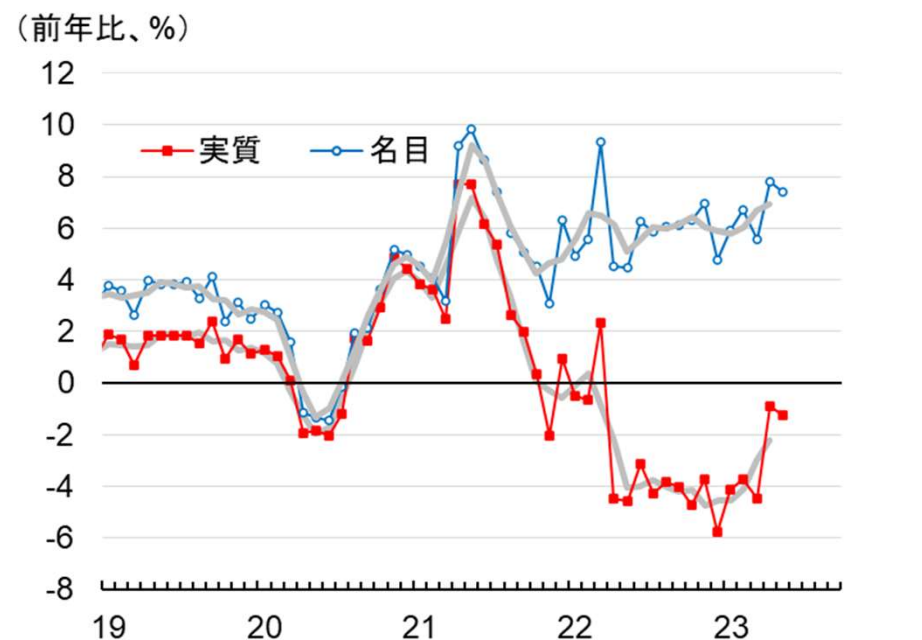
英国の5月の雇用統計(3ヶ月後方移動平均)では、失業率が4.0%と再び上昇し、また雇用者数が前月比3.8万人減と減少に転じたことから、雇用は改善が一服したと判断。均した賃金の動きは名目ベースだと前年比7%前後までプラス幅が拡大した一方、消費者物価で実質化した実質ベースでは依然として前年比2%ほどのマイナス幅である。

### 雇用統計



(注) 3ヶ月間の平均値 (年、月)  
(出所) ONS

### 平均賃金(週給)

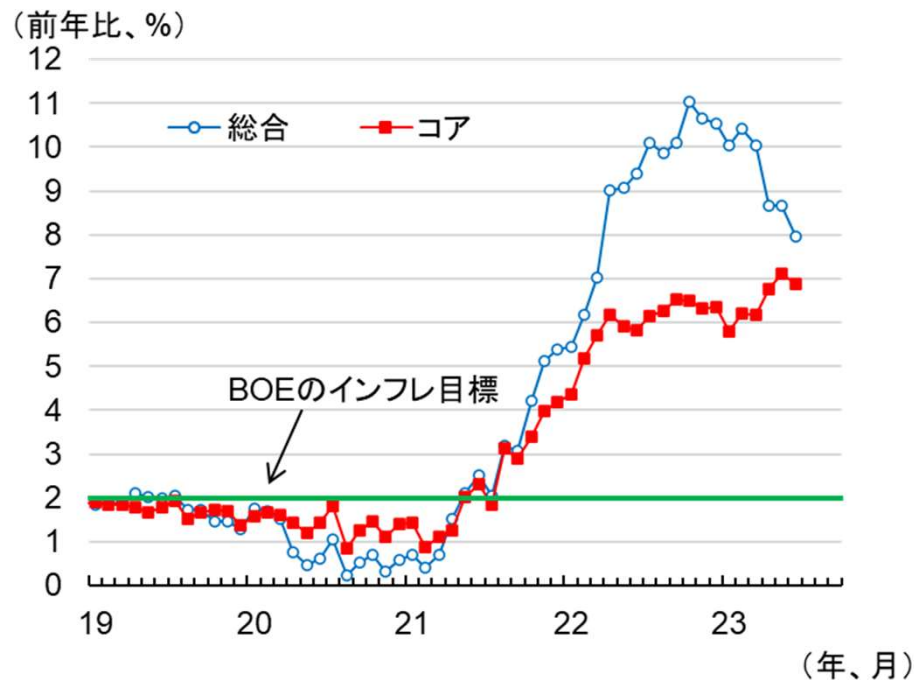


(注) 灰色線は3ヶ月移動平均 (年、月)  
(出所) ONS

## 英国景気概況⑤ インフレは鈍化

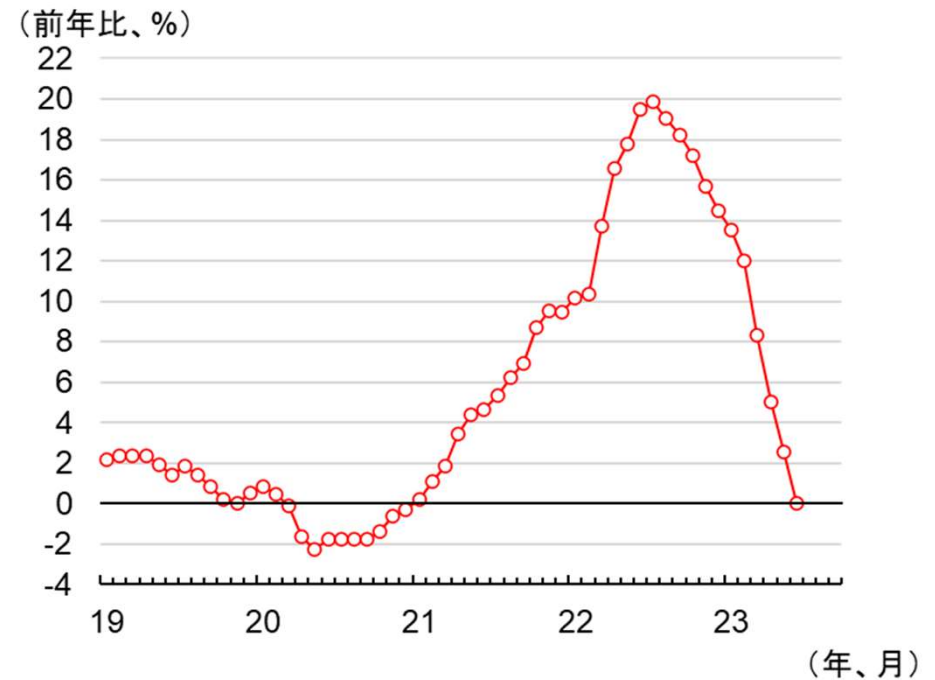
英国の6月の消費者物価は総合ベースで前年比+8.0%と3ヶ月ぶりに伸びが鈍化した。また変動が激しい項目を除いたコアベースは同+6.9%と、前月(同+7.1%)から伸びが鈍化したが、依然として高水準。消費者物価の先行指標となる生産者物価は6月時点で同横ばいと、12ヶ月連続で伸びが鈍化した。

### 消費者物価



(出所)ONS

### 生産者物価(投入価格、除く関税)

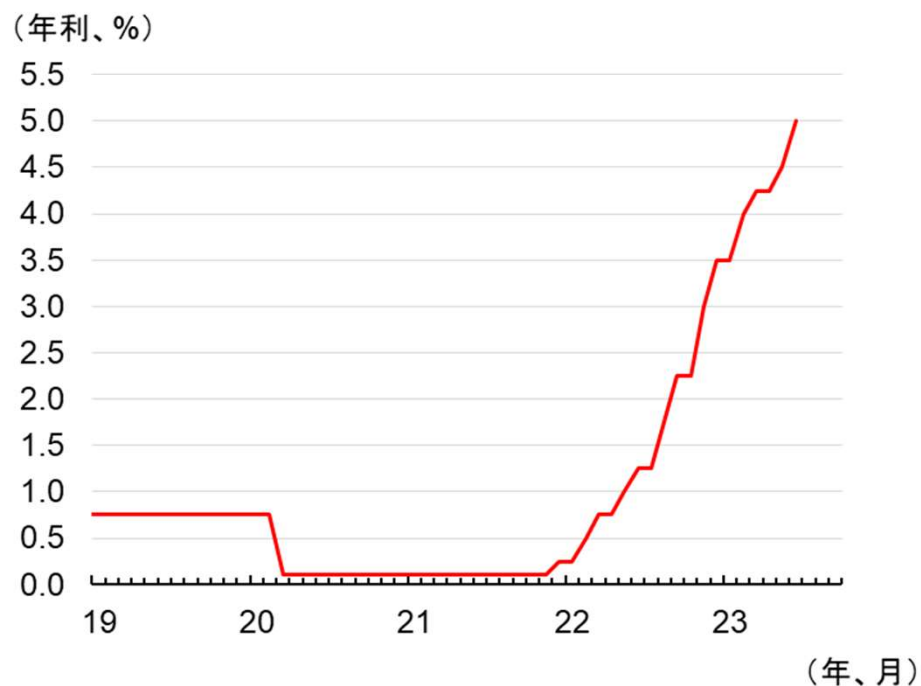


(出所)ONS

## 英国景気概況⑥ BOEは6月委員会で追加利上げを実施

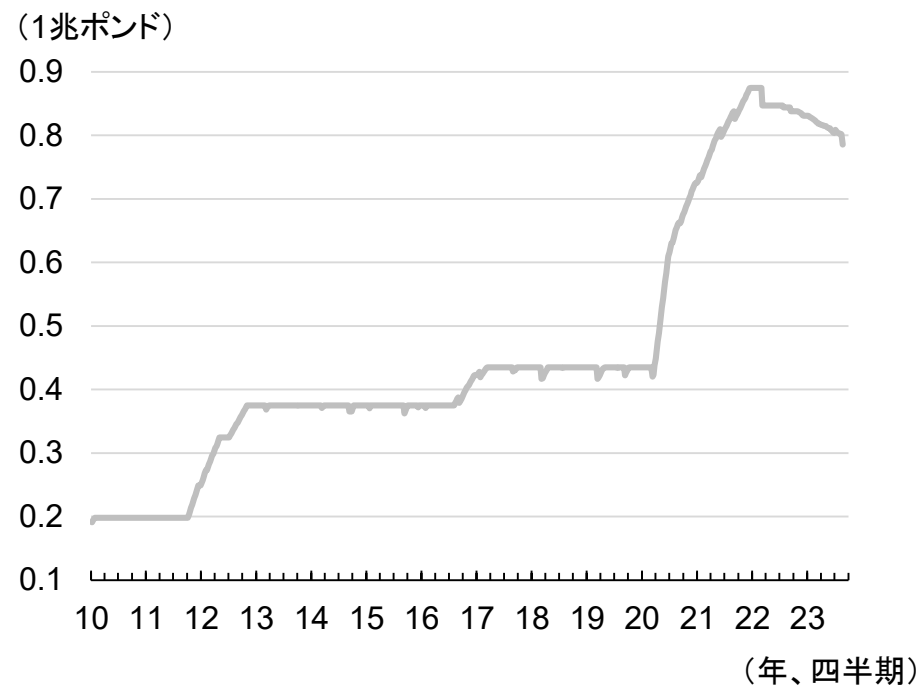
イングランド銀行(BOE)は8月3日の金融政策委員会(MPC)で、政策金利(バンクレート)を0.25%引き上げ、年5.25%とする見込み。BOEは2022年11月から保有国債の市中売却を開始しており、国債の保有高は徐々に減少している。次々回MPCは9月21日に開催予定。

### 政策金利(バンクレート)



(出所)イングランド銀行(BOE)

### 英中銀の国債保有高

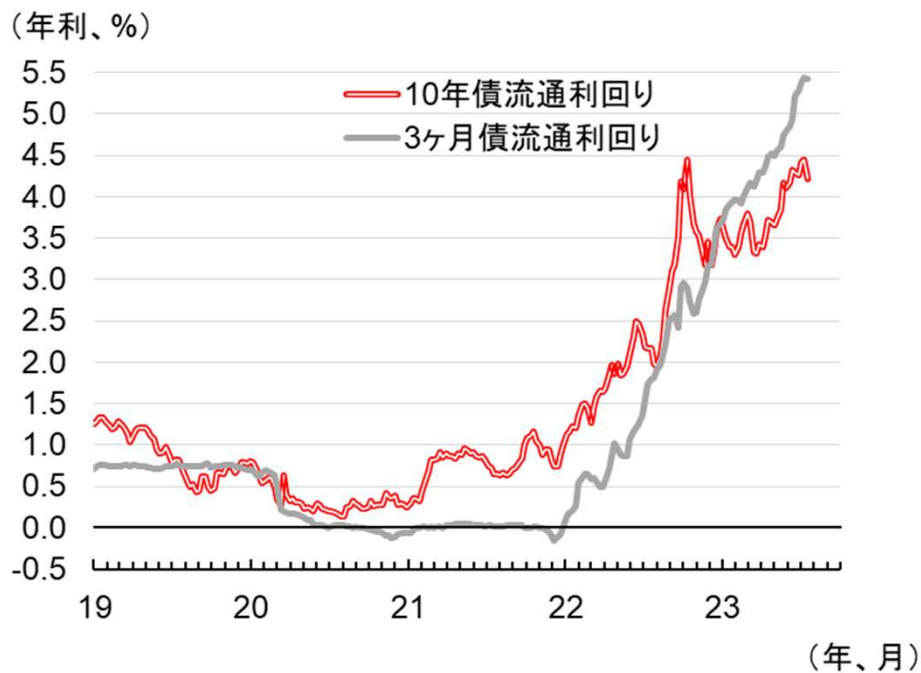


(出所)BOE

## 英国景気概況⑦ 金利は低下、株価は上昇

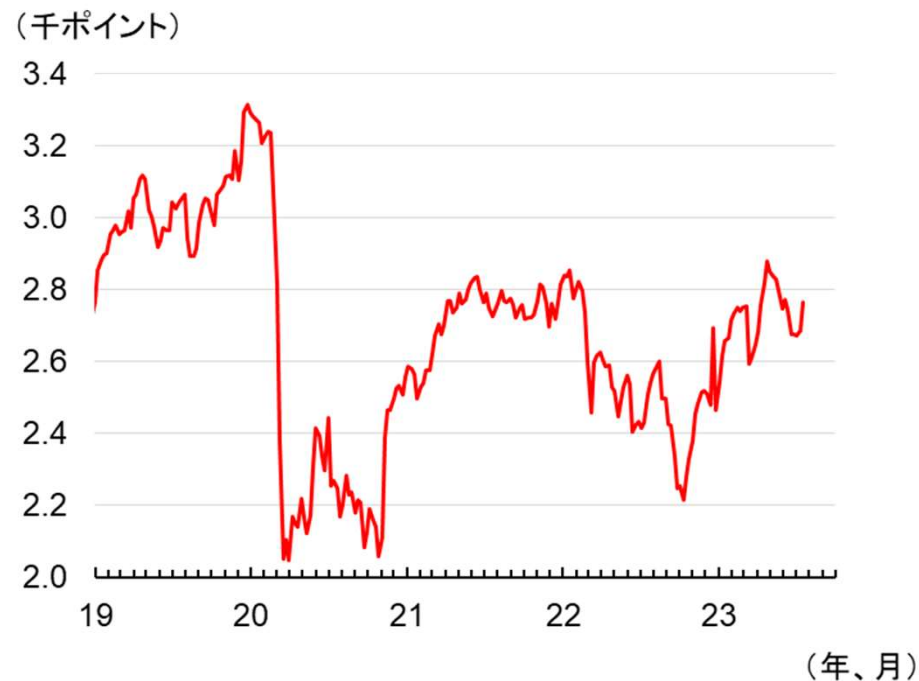
7月の英国の長期金利は低下した。インフレの鈍化を示唆する指標が相次いだことを受けて、英国の金利は低下した。一方で、7月の英国の株価は上昇した。好調な資源価格を受けて鉱山株などエネルギー関連株が買われ、相場の上昇をけん引した。

### 金利



(出所)BOE

### 株価(FT30指数)



(出所)BOE



## 英国景気概況⑧ ポンドは対ドル、対円で下落

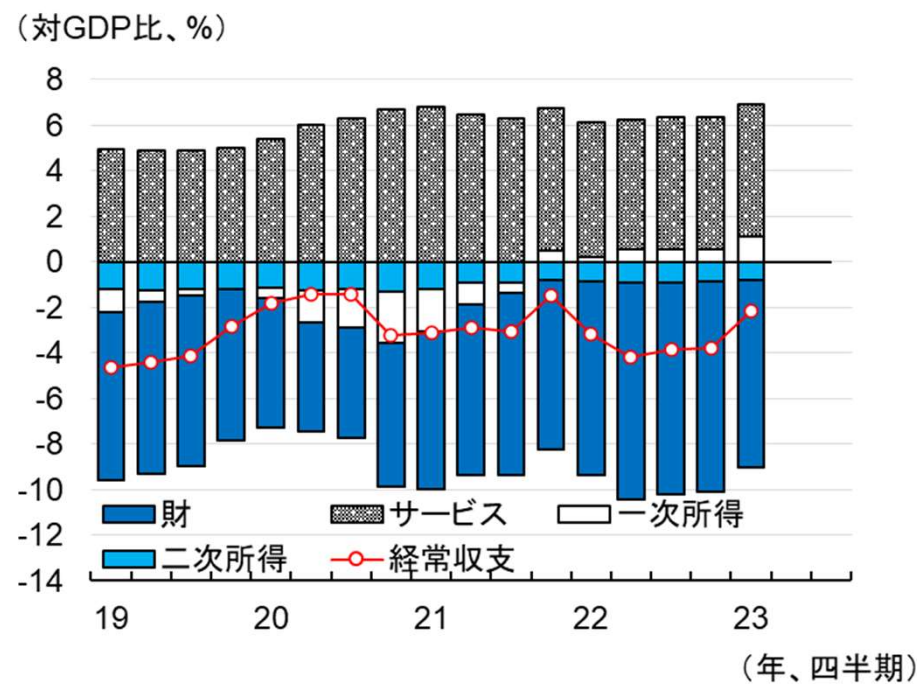
7月のポンド相場は対ドル、対円で下落した。インフレの鈍化を示唆する指標が相次いだことなどをを受けてBOEによる追加利上げが終盤に入ったとの思惑が強まり、ポンド売りが先行した。財収支の赤字幅は縮小しているが、依然としてGDPの8%近い水準を保持しており、ポンドの実需買い圧力は弱い。

### ポンド相場



(注) 週次レート  
(出所) BOE

### 国際収支



(出所) ONS

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 土田陽介 TEL:03-6733-1628 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

— ご利用に際して —

- 本資料は、執筆時点で信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡ください